

政務活動費 視察・研修会等 報告書

- | | |
|------|---------------------------|
| ・日 時 | 平成29年 7月13日（木） 午前10時～12時 |
| ・場 所 | 地方議会研究会 共催セミナー（新宿区早稲田大学内） |
| ・参加者 | 桐生市議会公明クラブ 周東 照二 山之内 肇 |
| ・項 目 | ・地域ポイントシステムについて |

◎概 要

（１）セミナー要旨

地方議会研究会と早稲田大学の共催セミナーに参加した。「市民と創る地域ポイントシステムの実例と応用」というテーマで、早稲田大学環境総合研究センター 研究院准教授 永井裕二氏の担当で行われた。

地域ポイントシステムの基となる地域通貨の起源から海外での地域通貨の事例紹介、日本での地域通貨の現状紹介があり、2016年12月1日現在669件の日本国内における地域通貨があることについて説明があった。具体的な事例として、早稲田・高田馬場での「アトム通貨」が紹介された。また、地域通貨から地域ポイントに発展した形態として、高知県の交通エコポイント「ですか」や北九州市の省エネ・節電ポイントなど異なった事業と連携した事例紹介があった。さらに、この動きはスマートコミュニティの構築に寄与する可能性を示して頂いた。

（２）参考となる点及び課題

桐生市における地域ポイント制度を導入して事業展開を考える際に参考にしていきたい。とくに高齢化が進む桐生市においては、地域通貨と連携して、健康ポイントやボランティア活動ポイント等を付加し多角方面からのインセンティブを増やすことにより、高齢者の健康維持と積極的な社会参加を促す施策として展開できるのではないかと考えられる。これからの議員活動に活かしていきたい。

◎成果による当局への提言または要望等

地域通貨や健康ポイント、ボランティア活動ポイントなどとの連携や、可能であればマイナンバーカードでも利用できるシステムを検討して頂き、地域活性化に活かして頂きたい。
